MITSUBISHI MOTORS

ECLIPSE CROSS

クイックガイド

このクイックガイドはお車をいつも安全・快適に運転していただくためのガイドです。
このクイックガイドは別冊の「取扱説明書」の抜粋版です。詳細については別冊の「取扱説明書」をお読みください。
装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいるため、本書の内容がお客様のお車と合わないことがあります。

お問い合わせ、ご相談は下記にお願いいたします。

三菱自動車
お客様相談センター　0120 - 324 - 860
(Customer Relations)

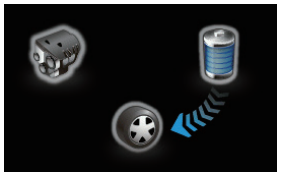
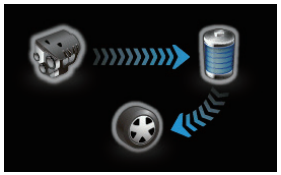
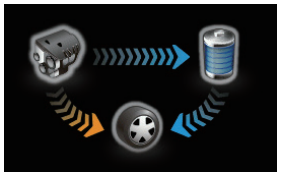
お客様の個人情報は厳重に取り扱い、お問い合わせへの対応に使用いたします。
また、ご相談内容によっては適切な対応をさせていただくため、三菱自動車販売会社等へ必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客様にご連絡を取らせていただく場合もございますので、予めご了承ください。
なお、当社における個人情報の取り扱いの詳細については三菱自動車ホームページ(www.mitsubishi-motors.com/jp/PRIVACY) にて記載しております。

プラグインハイブリッド EV システムとは

- 駆動用バッテリーに蓄えられた電気を使用して、バッテリー残量に応じて EV 走行モードで電気自動車として走行します。*1 駆動用バッテリー残量が減少したときや走行状況に応じて、EV 走行モードからエンジンを併用するシリーズ走行モードやパラレル走行モードに自動制御 *2 します。
  *1：駆動用バッテリーに残量がある場合は、積極的に EV 走行モードになります。
  走行可能距離は、駆動用バッテリー残量や車速、エアコンの使用状況によって変わります。
  *2：バッテリーセーブモードを使用することで、EV 走行モードに切り換わるタイミングを調整できます。
- 高性能モーターの採用により、走行中の騒音・振動を大幅に抑えるとともに力強く加速します。
- 回生ブレーキを採用し、アクセルオフ時に自動的に駆動用バッテリーを充電します。
- 車両に装備された AC200V、または AC100V（タイプ別装備）の普通充電ケーブルを使用した充電が可能です。また、CHAdeMO（チャデモ）規格 * に準拠した急速充電器または V2H 機器による充電も可能です。
  *：CHAdeMO は、日本発の電気自動車用急速充電の規格で、その内容は国際標準にもなっています。

エネルギーフロー表示

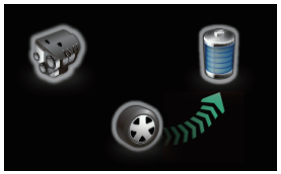
各走行モードでのエネルギーの流れが、インフォメーション画面に表示されます。

EV 走行モード	シリーズ走行モード	パラレル走行モード
		
駆動用バッテリーに蓄えられた電気を使用してモーターのみで走行するモードです。	駆動用バッテリー残量が減少した場合や急加速時、上り坂など力強い走りを必要とするときに、エンジンにより発電した電力を使用し、モーターのみで走行するモードです。	エンジンの効率が良くなる高速走行時に、エンジンの駆動力を利用して、さらにモーターがアシストしながら走行するモードです。

各走行モードでのモーターとエンジンの役割

モード	モーター	エンジン
EV 走行モード	駆動	停止
シリーズ走行モード	駆動	発電
パラレル走行モード	駆動	前輪駆動＋発電

回生ブレーキ

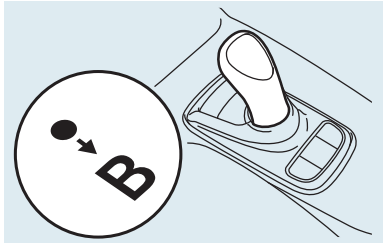


モーターを発電機として使用して運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。この変換時にブレーキ力が発生し、変換された電気エネルギーは駆動用バッテリーに充電されます。回生ブレーキ走行時のエネルギーの流れはインフォメーション画面に表示されます。

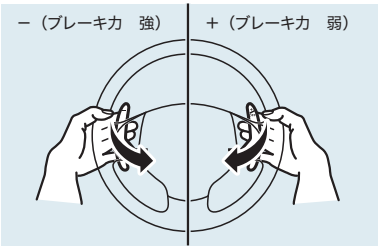
回生ブレーキ力の強さはセレクターレバーで2段階、回生レベルセレクター（パドル式）では6段階まで調整が可能です。

回生ブレーキは走行中にアクセルペダルから足を離すと発生します。ブレーキペダルを踏み込んだときは、より強い回生ブレーキが得られます。セレクターレバーや回生レベルセレクターを操作して強い回生ブレーキが発生したときは、制動灯（ブレーキランプ）が点灯します。

セレクターレバーでの操作



回生レベルセレクターでの操作



停車中や EV 走行が可能な条件でエンジンが始動する場合について

EV 走行が多く、燃料の消費量が少ない場合、燃料タンク内の燃料が長期間滞留することがあります。

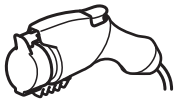
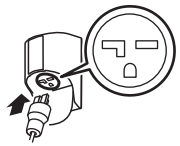
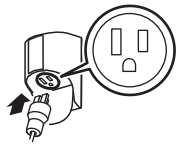
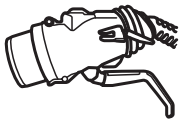
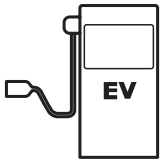
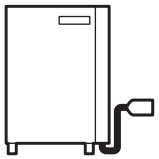
このような場合、燃料タンク内の燃料の変質により、エンジンや燃料系の部品に悪影響をおよぼし、エンジンの不調や故障に至るおそれがあります。そのため、約3 ヶ月間一度も15L 以上の給油が確認できなかった場合、自動的にエンジンを始動する機能を備えています。

※自動的にエンジンが始動する機能を終了させるには、燃料残量表示が半分以下になるまで燃料を消費し、15L 以上給油してください。

エンジンが始動しているときは、駆動用バッテリーを充電している状態になり、バッテリーチャージモード表示画面（ CHARGE ）が表示されますが、満充電にはなりません。

また、これ以外にも停車中や EV 走行が可能な条件でエンジンが始動する場合があります。詳しくは取扱説明書 3 章「プラグインハイブリッド EV システム」の「システムの主な特徴」にある「ガソリンエンジンの作動について」をお読みください。

駆動用バッテリーを充電するには次の方法があります。

種類	充電給電口	充電コネクター	電源	充電時間 *1
普通充電 (AC200V)				約4.5時間
普通充電 (AC100V)*2 タイプ別装備				約14.5時間
急速充電				約25分 *3 (満充電の80% まで)
V2H 充電 *4 *5				V2H 機器やご家庭の 電力事情により 異なります。

*1：充電時間は駆動用バッテリーの状態、車両の使用環境、急速充電器または V2H 機器の仕様によって異なります。
また、高温および低温時ならびに電装品使用時には充電時間が長くなる場合があります。

*2：AC100V 用の普通充電ケーブルは、標準装備されておりません。必要なときは、三菱自動車販売会社でお買い求めください。

*3：急速充電器の出力が50kW 仕様の場合の充電時間です。

*4：V2H 充電をするために、V2H 機器の設置が必要です。詳しくは、次の項をお読みください。
→「V2H（ヴィーツーエッチ）とは」4ページ

*5：V2H 給電の方法については、次の項をお読みください。
→「急速充電・V2H 充電・V2H 給電のしかた」6ページ

※充電給電口と充電コネクターの金属端子部には手を触れないでください。感電、故障の原因となります。

※普通充電は、AC200V・AC100V いずれの場合も、20A 以上の専用分岐回路に接続された EV 充電用コンセントを使用してください。

※三菱リモートコントロール * を使ったタイマー充電、プレ空調が可能です。詳しくは、取扱説明書または三菱自動車ホームページをお読みください。
https://www.mitsubishi-motors.co.jp/afterservice/app/eclipse-cross-phev/

*：三菱リモートコントロールとは、車両と無線 LAN 機器を接続し専用アプリケーションを使って車両の充電、空調、カスタマイズ（機能の設定変更）を遠隔操作するシステムです。

V2H（ヴィーツーエッチ）とは

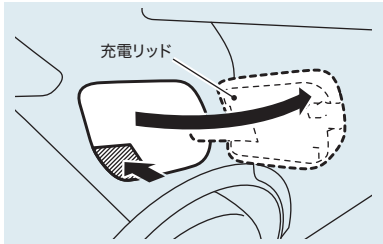
「Vehicle to Home」の略で、車両の電力を家庭用の電力供給源として利用することができます。
急速充電と同じ CHAdeMO（チャデモ）規格の急速充電コネクターを使い、車両と自宅などの双方向充電を行うものです。
V2H 機器から車両へ充電を行うことを「V2H 充電」、V2H 本体を経由して車両から自宅へ電力供給することを「V2H 給電」といいます。
V2H の詳細については、PHEV to HOME 販売カタログまたは、各 V2H メーカーのカタログ、取扱説明書などでご確認していただくか、V2H メーカーにお問い合わせください。

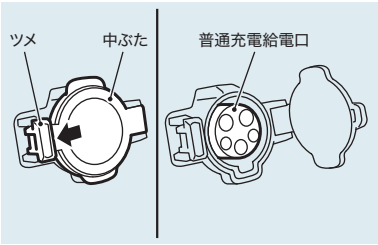
普通充電のしかた

1 電動パーキングブレーキを確実にかけ、電動パーキングスイッチを押して、セレクトポジションをⓅにします。

2 ライトなどの電装品を停止して、パワースイッチの電源モードを OFF にします。

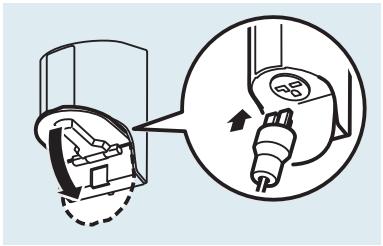
3 運転席ドアが解錠されていることを確認し、充電リッドの後方をカチッと音がするまで押して開け、ツメを押して中ぶたを開けます。



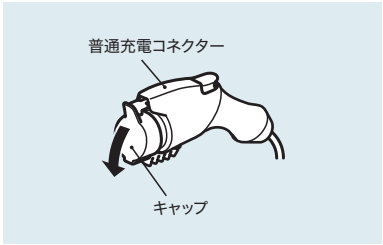


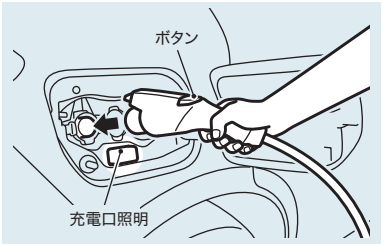
※運転席ドアの解錠に連動して充電リッドが解錠します。

4 普通充電ケーブルのプラグをコンセントに確実に差し込み、コンセントのふたロック機構でプラグをロックします。

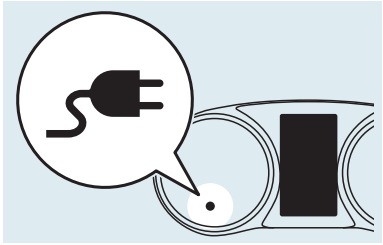


5 普通充電コネクターのキャップを取り外し、普通充電コネクターの下部を握り、ボタンを押さずにカチッと音がするまで差し込みます。
充電が開始されると、充電口照明が3回点滅して消灯します。





6 メーター内の充電ランプが点灯していることを確認します。充電が完了すると充電ランプは消灯します。

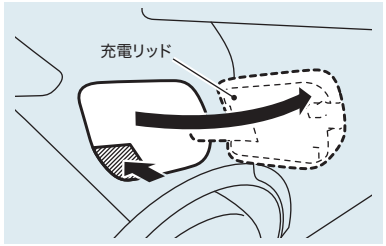


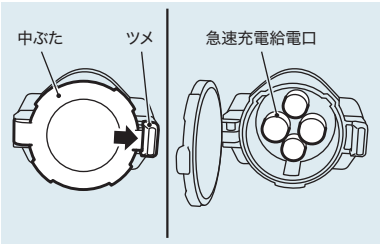
急速充電・V2H 充電・V2H 給電のしかた

1 電動パーキングブレーキを確実にかけ、電動パーキングスイッチを押して、セレクトポジションをⓅにします。

2 ライトなどの電装品を停止して、パワースイッチの電源モードを OFF にします。

3 運転席ドアが解錠されていることを確認し、充電リッドの後方をカチッと音がするまで押して開け、ツメを押して中ぶたを開けます。

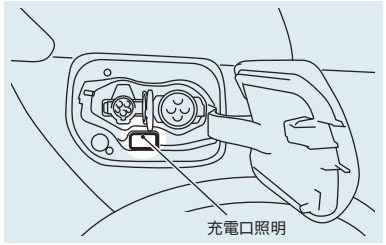


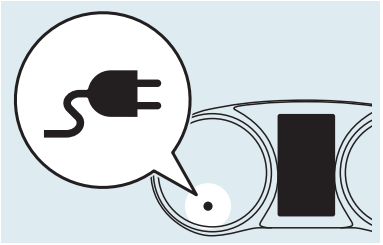


※運転席ドアの解錠に連動して充電リッドが解錠します。

4 急速充電給電口に急速充電コネクターを取り付け、充電または給電を開始します。
取り付け方、取り外し方については、各急速充電器または各 V2H 機器のマニュアルに従ってください。

5 充電または給電が開始されると、充電口照明が3回点滅して消灯し、メーター内の充電ランプが点灯します。充電または給電が完了すると充電ランプは消灯します。

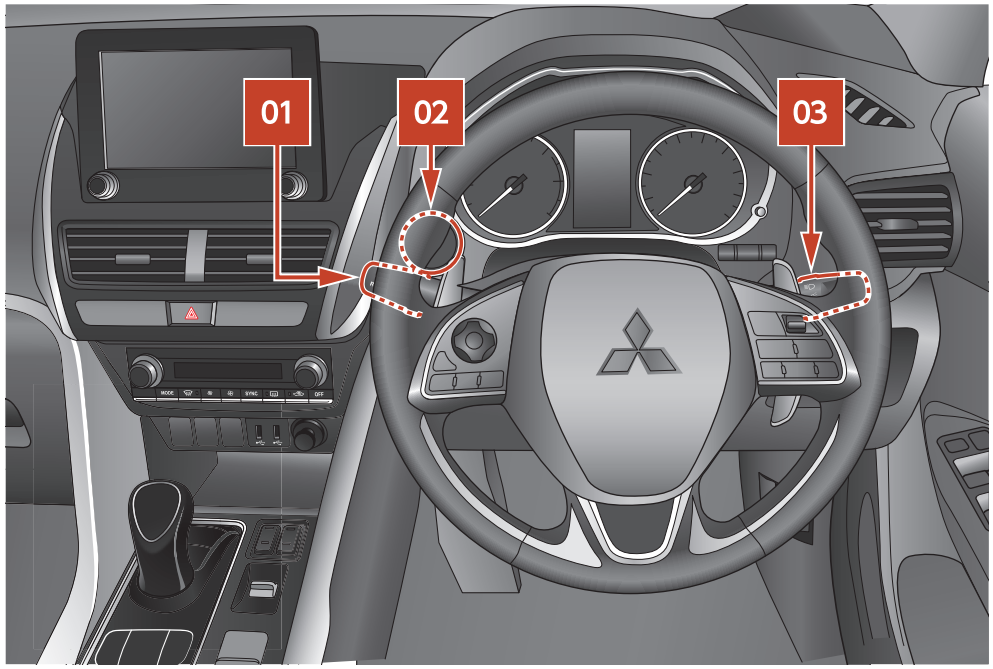




充電ランプが点灯しない場合は、充電または給電が開始されていません。
各急速充電器または各 V2H 機器のマニュアルに従ってください。

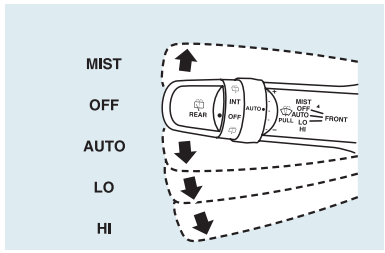
詳しくは取扱説明書 3 章「プラグインハイブリッド EV システム」の「急速充電・V2H 充電・V2H 給電のしかた」をお読みください。

※急速充電または V2H 充電が正常に終了しなかった場合、プラグインハイブリッド EV システムを起動することはできますが、充電ランプは点滅し続けます。このようなときは、再度急速充電または V2H 充電を行い、正常に終了することを確認してください。
急速充電または V2H 充電を終了させても充電ランプが点滅し続ける場合は、三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



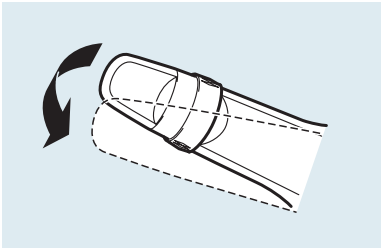
01 ワイパー／ウォッシャースイッチ

パワースイッチの電源モードが ON または ACC のときに使用できます。
レバーおよびツマミを操作すると次の通り作動します。



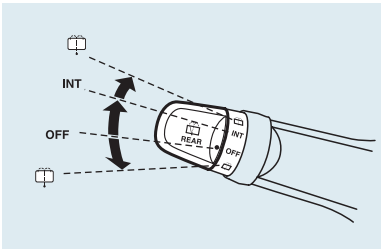
フロントワイパー

- MIST ：霧雨のときなど1回作動させるとき
  （ワイパーミスト機能）
- OFF ：停止
- AUTO：自動作動（雨滴感応）
  雨の程度に応じて、自動的にワイパーが作動
- LO ：低速作動
- HI ：高速作動



フロントウォッシャー

レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液を噴射し、同時にワイパーが数回作動



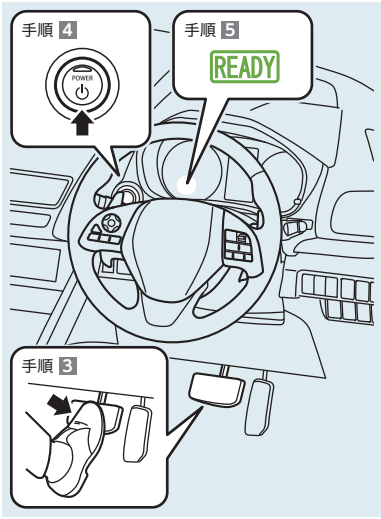
リヤワイパー&ウォッシャー

- INT ：間欠作動
  数回作動し、その後約8秒おきに作動
- OFF ：停止
- ：ウォッシャー液を噴射し、同時にワイパーが数回作動

02 パワースイッチ

パワースイッチはキーレスオペレーションキーが車内の作動範囲にあるときに操作できます。

プラグインハイブリッド EV システムを起動したいとき



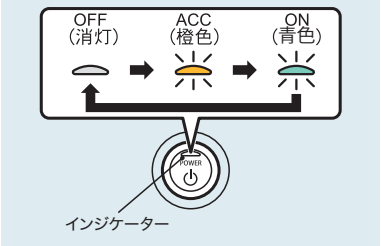
1. 充電ケーブルが車両に接続されていないことを確認します。
2. 電動パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. ブレーキペダルをしっかり踏み込みます。
4. パワースイッチを押します。
   完全にシステムが起動するまでは、ブレーキペダルをしっかり踏み続けてください。
5. READY（走行可能）表示灯が点灯したことを確認します。
   READY（走行可能）表示灯が点灯するまでは、セレクターレバーは操作しないでください。また、表示灯が点滅中にセレクターレバーを操作すると、システムは起動しません。

プラグインハイブリッド EV システムを停止したいとき

車を安全な場所に停止させ、電動パーキングスイッチを押してセレクトポジションをⓅにしてからパワースイッチを押します。

電源モードのみ切り換えたいとき

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押します。スイッチを押すごとに電源モードがOFF → ACC → ON → OFF の順に切り換わります。



電源モードの状態は、スイッチ内のインジケーターの色で確認します。

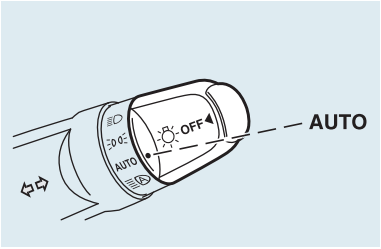
- OFF ： 消灯
- ACC ： 橙色に点灯
- ON ： 青色に点灯
- プラグインハイブリッド EV システムが起動しているとき ： 消灯

※パワースイッチによる操作ができない場合、キーレスオペレーションキーが作動範囲内でも検知されにくい場所にあるか、キーレスオペレーションキーの電池切れなどが考えられます。

走行中に緊急停止させたいとき

パワースイッチを3秒以上長押しするか、素早く3回以上押してください。

03 ライトスイッチ

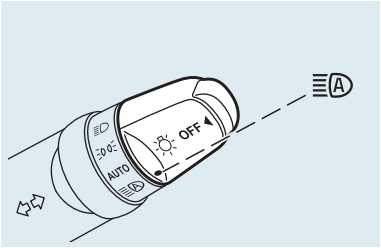


オートライトコントロール

パワースイッチの電源モードが ON のときに、ライトスイッチをAUTO の位置にすると、車外の明るさに応じてヘッドライトや車幅灯などの車外照明が自動的に点灯・消灯します。(≡D◯≡の位置でも、走行すると車外の明るさに応じてヘッドライトが自動的に点灯します)

パワースイッチの電源モードをOFF にすると自動的に消灯します。

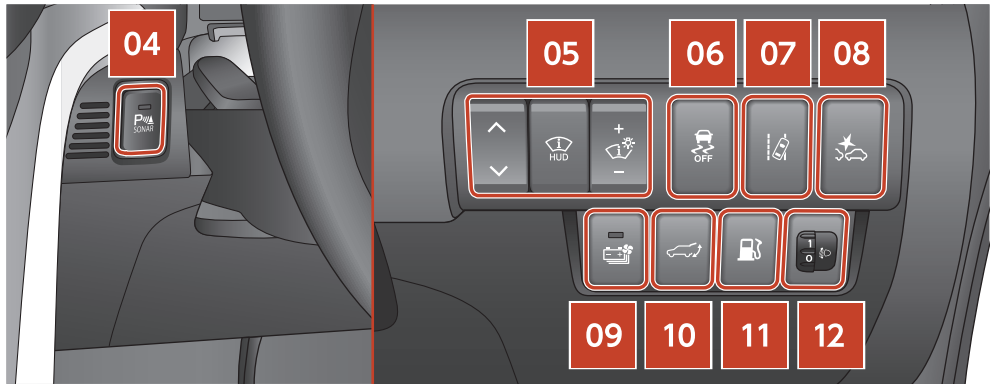
※走行中は点灯したヘッドライトを手動で消灯することはできません。
停車中は、ライトスイッチを≡D◯≡の位置にするとヘッドライトのみ消灯し、OFF スイッチを約1秒以上押し続けるとすべてのライトが消灯します。
詳しくは取扱説明書 5 章「運転するときは」の「ライトスイッチ」をお読みください。



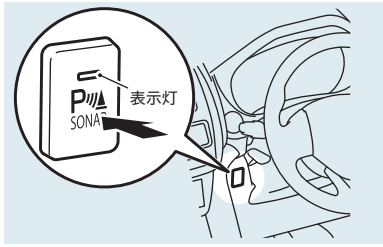
オートマチックハイビーム [AHB]

ライトスイッチが AUTO の位置でヘッドライトが点灯しているときに、≡Ⓐの位置に回すと、AHB が ON になります。センサーにより先行車または対向車のランプや街路灯などの明るさを検知して、自動的にヘッドライトの上向き（ハイビーム）または下向き（ロービーム）の切り換えを行います。

本書の40ページも併せてお読みください。



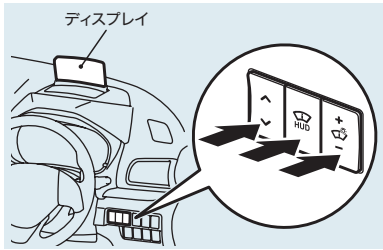
04 パーキングセンサー（フロント／リヤ）スイッチ



スイッチを押すとシステム OFF の状態になり、スイッチ内の表示灯が消灯します。もう一度押すと再びシステム ON の状態になり、スイッチ内の表示灯が点灯します。

本書の47ページも併せてお読みください。

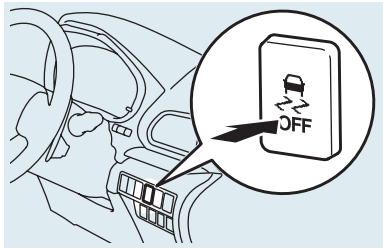
05 ヘッドアップディスプレイ [HUD] スイッチ



ディスプレイの展開･格納、角度調整、照度調整、またはナビゲーション情報の表示／非表示の切り換えができます。

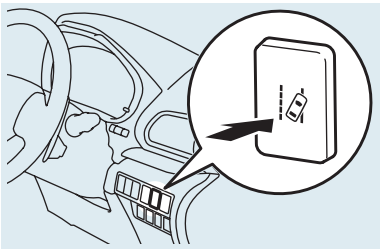
本書の31、32ページも併せてお読みください。

06 アクティブスタビリティコントロール [ASC]OFF スイッチ



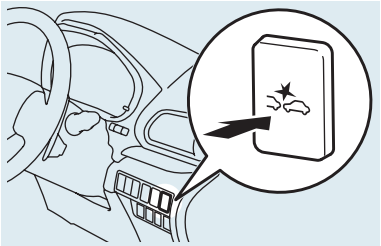
ASC を OFF にしたいときは ASC OFF スイッチを3秒以上押し続けます。ASC を OFF にすると、メーター内の ASC OFF 表示灯が点灯します。もう一度押すと ON になります。

07 車線逸脱警報システム [LDW] スイッチ



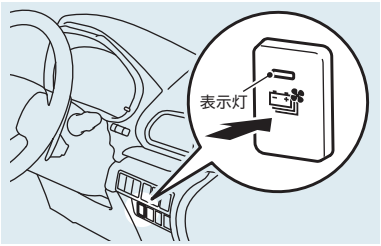
スイッチを押すとシステム OFF の状態になります。
もう一度押すと再びシステム ON の状態になります。
本書の39ページも併せてお読みください。

08 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] ／誤発進抑制機能 ON/OFF スイッチ



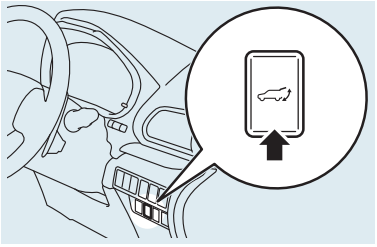
スイッチを押し続けると、FCM ／誤発進抑制機能の ON/OFF 状態を切り換えることができます。システムが ON のときに短く押すと、FCM の衝突警報タイミングが切り換わります。
本書の37、38、41ページも併せてお読みください。

09 駆動用バッテリー冷却スイッチ



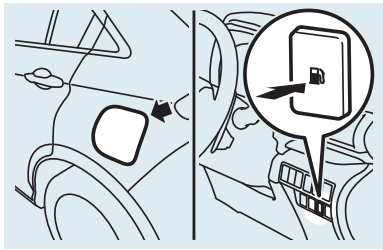
普通充電中の際に、駆動用バッテリーの冷却を停止することができます。
停止するときは、スイッチを押して OFF にします。OFF にした場合、スイッチ内の表示灯が消灯します。
冷却中のエアコンコンプレッサーなどの作動音を一時的に消したいときにご使用ください。
バッテリー容量低下の割合を小さくするために、通常は駆動用バッテリー冷却スイッチを ON にしておくことをおすすめします。

10 エレクトリックテールゲートスイッチ



エレクトリックテールゲートスイッチを約1.5秒以上押すと警報ブザーが鳴り、非常点滅灯が点滅してエレクトリックテールゲートが作動します。

11 燃料の給油



フューエルリッド（燃料補給口）

車両の左側後方にあります。開けるときはプラグインハイブリッド EV システムを停止させて、運転席右下のフューエルリッドオープンスイッチを押します。
インフォメーション画面に「給油準備完了しました」が表示されたことを確認してからフューエルキャップを開けてください。

※給油するときは、次の内容をしっかり読んでから給油を行ってください。

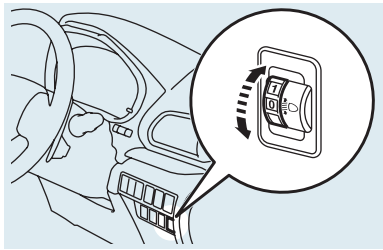
- レギュラーガソリンを使用してください。
  （軽油は使用できません）
- 給油操作は必ず一人で行い、補給口に他の人を近づけないでください。給油が終わるまで補給口から離れないでください。
- フューエルキャップはゆっくり開け、補給口に給油ノズルを確実に差し込みます。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。継ぎ足しをすると燃料があふれ出るおそれがあります。

※給油前に必ずガソリンスタンドに掲示の注意事項を確認し、指示に従ってください。

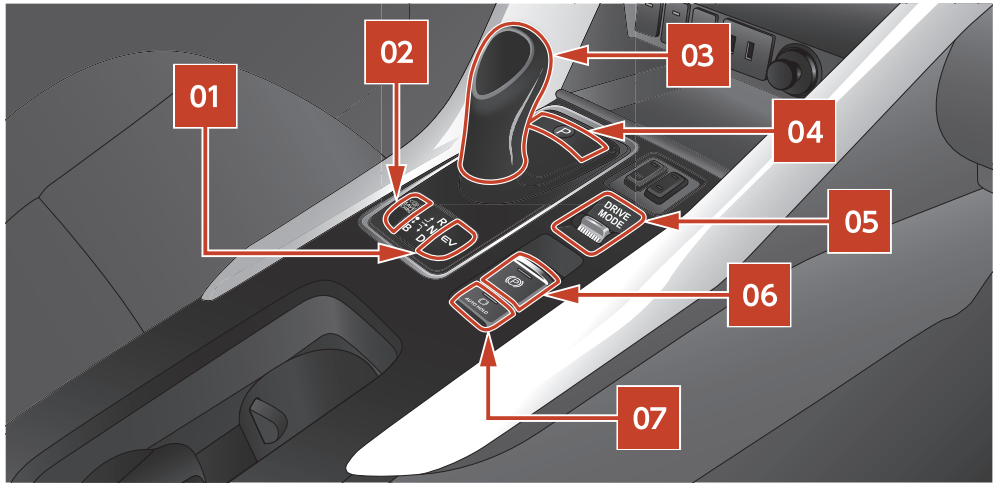
※お車の使用状況によっては燃料タンク内の燃料が消費されず長期間滞留し、燃料の品質が変化しエンジンや燃料系の部品に悪影響をおよぼす可能性があります。予防のため、次のことをお守りください。

- 3 ヶ月以内に一度はバッテリーチャージモードを選択してエンジンを始動する。
  →「バッテリーセーブ／チャージモードスイッチ」13 ページ
- 3 ヶ月以内に一度は1回で15L 以上給油してください。燃料残量計の表示が半分以下になれば、確実に15L 以上給油可能となります。
  →「停車中や EV 走行が可能な条件でエンジンが始動する場合について」2 ページ
  →「インフォメーション画面の警告表示　その他の割り込み表示」30 ページ

12 ヘッドライトレベリングダイヤル



乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて、ヘッドライトの照らす方向（光軸）をダイヤルを回して調整します。
ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。



01 EV スイッチ

パワースイッチの電源モードが ON のときにスイッチを押すと、アクセルペダルを深く踏み込んだとしてもできるだけ EV 走行モードで走行する EV プライオリティモードに切り換わります。

住宅街など騒音や排気ガスに配慮する必要がある場所など、できるだけエンジンを始動させずに走行したいときに使用します。

02 バッテリーセーブ／チャージモードスイッチ

パワースイッチの電源モードが ON のときに、バッテリーセーブ／チャージモードスイッチを押すとモードが「SAVE」（バッテリーセーブ）→「CHARGE」（バッテリーチャージ）→「OFF」→「SAVE」（バッテリーセーブ）の順に切り換わります。

バッテリーセーブモード

駆動用バッテリーの残量を維持したいときに使用します。

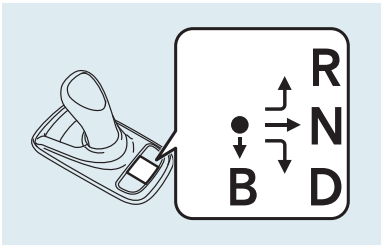
駆動用バッテリー残量を維持するようにエンジンが始動し、シリーズ走行またはパラレル走行します。

バッテリーチャージモード

駆動用バッテリーの残量を増やしたいときに使用します。

エンジンが始動し、走行中および停車中に駆動用バッテリーを満充電近くまで充電します。

03 セレクターレバー



セレクターレバーの動かし方

- R：(リバース)　後退させるときはⓇの矢印方向へゆっくり操作します。
- N：(ニュートラル)　ニュートラルにするときはⓃの矢印方向へ操作し、しばらく保持します。
- D：(ドライブ)　前進走行するときはⒹの矢印方向へゆっくり操作します。
- B：(回生ブレーキ)　回生ブレーキを強めるときはⒷの矢印方向へゆっくり操作します。
  強い回生ブレーキが発生したときは、ブレーキランプが点灯します。

※セレクターレバーで選択したセレクトポジションはメーター内およびセレクターレバー後ろのパネルに表示します。

※走行中、セレクターレバーが押されて、誤ってⓃに入らないよう、手荷物をセレクターレバー周辺に置かないでください。

発進するときは

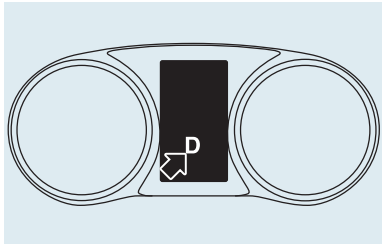
停車から発進するには、次の手順を守って操作してください。

1 READY（走行可能）表示灯が点灯していることを確認します。
※READY（走行可能）表示灯が消灯または点滅しているときは、セレクターレバーを操作してもセレクトポジション表示灯はⒹまたはⓇには切り換わりません。

2 ブレーキペダルを右足でしっかり踏みます。

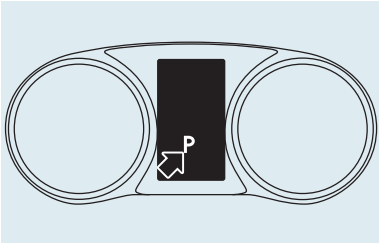
3 セレクターレバーをⒹまたはⓇに操作します。

4 セレクトポジション表示灯がⒹまたはⓇに切り換わったことを確認します。



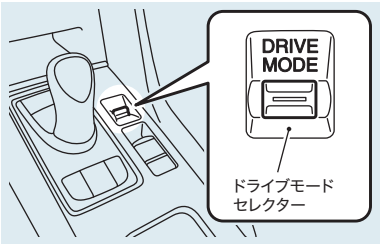
※セレクトポジションⒷは、急な下り坂走行など、強いブレーキ力が必要なときに使います。
なお、セレクトポジションⒹのときのみ、Ⓑに切り換えできます
操作の完了はメーター内のセレクトポジション表示灯で確認します。

04 電動パーキングスイッチ



駐車するときにスイッチを押します。車輪が固定され、スイッチにあるインジケーターが緑色に点灯し、インフォメーション画面にセレクトポジション表示灯Ⓟが点灯します。

05 ドライブモードセレクター



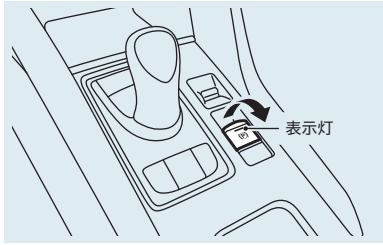
走行条件に合わせて、TARMAC・GRAVEL・SNOW・NORMAL・ECO のドライブモードを選択することができます。

パワースイッチの電源モードが ON のとき、スイッチを操作するとドライブモードが切り換わります。

ドライブモードを切り換えると、インフォメーション画面に割り込み表示でドライブモードが表示されます。

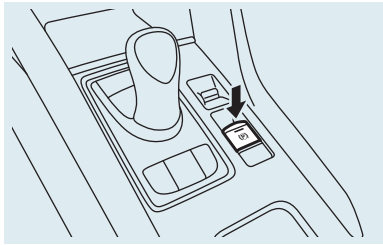
※パワースイッチの電源モードを ON にしたときは、ドライブモードは NORMAL モードになります。

06 電動パーキングブレーキスイッチ



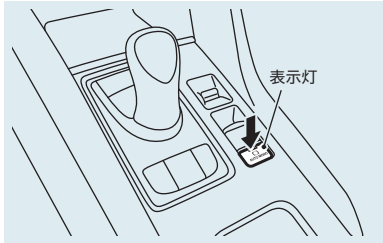
パーキングブレーキをかけるとき、または解除するときに使用します。

かけるときは、ブレーキペダルを踏んだままスイッチを引き上げます。メーター内のブレーキ警告灯とスイッチ内の表示灯が点灯します。



解除するときは、パワースイッチの電源モードが ON のときに、ブレーキペダルを踏んだままスイッチを押します。メーター内のブレーキ警告灯とスイッチ内の表示灯が消灯します。

07 ブレーキオートホールドスイッチ

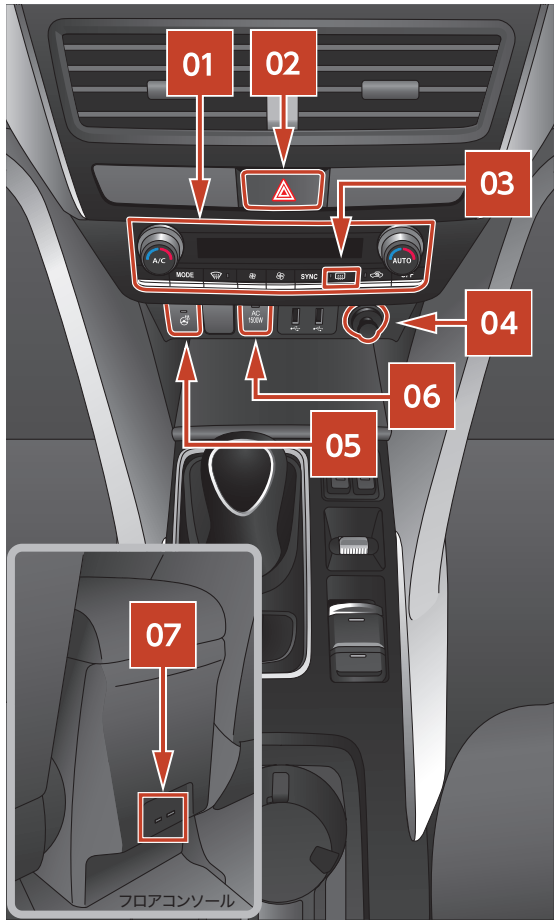


次の条件がそろったときにスイッチを押すと、システムがスタンバイ状態に切り換わり、スイッチ内の表示灯が点灯します。

- パワースイッチの電源モードが ON のとき
- 運転席のシートベルトを着用しているとき
- 運転席ドアが閉じているとき

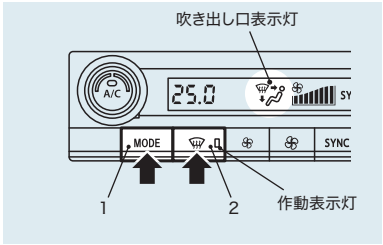
セレクトポジションがⓅまたはⓇ以外のときに、ブレーキペダルを踏んで停車すると、メーター内のブレーキオートホールド作動表示灯が点灯して、自動でブレーキがかかった状態を保持します。

ブレーキ保持中にアクセルペダルを踏み込むと、ブレーキは自動で解除されます。



01 エアコン・ヒーター

吹き出し口の調整

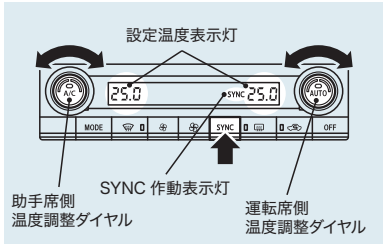


MODE スイッチ (1) またはデフロスタースイッチ (2) を押します。

設定した吹き出し口が表示されます。

デフロスタースイッチを ON にすると、作動表示灯が点灯します。

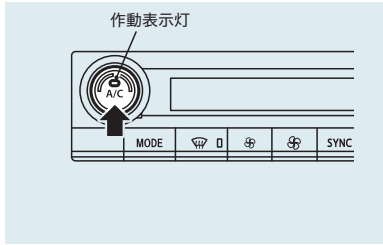
温度調整



温度調整ダイヤルを回します。

助手席側温度調整ダイヤルを回す、または SYNC スイッチを押して SYNC 作動表示灯を消灯させると、運転席側と助手席側の温度を独立して設定できます。

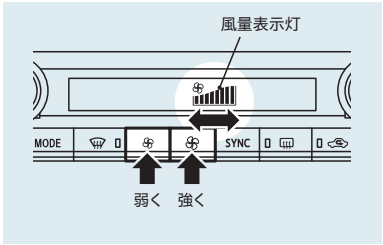
エアコンの作動と停止



A/C スイッチを押します。

エアコン作動中は作動表示灯が点灯します。

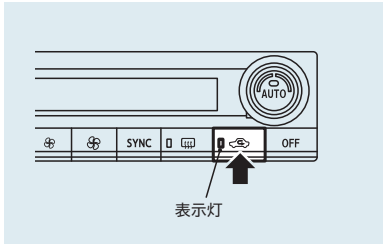
風量調整



風量調整スイッチを押します。

設定した風量が表示されます。

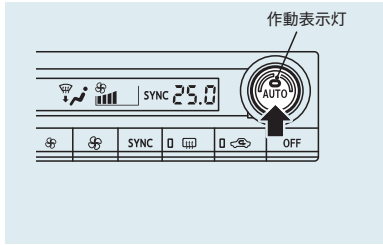
内外気切り換え



内外気切り換えスイッチを押します。

内気循環のときは表示灯が点灯します。

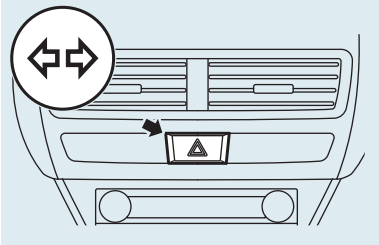
自動で使う



AUTO スイッチを押します。

AUTO 作動中は作動表示灯が点灯します。

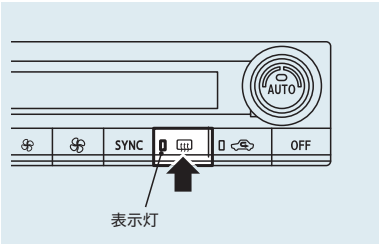
02 非常点滅灯スイッチ



故障したときなど、やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。

スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し、メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。

03 リヤデフォッガースイッチ



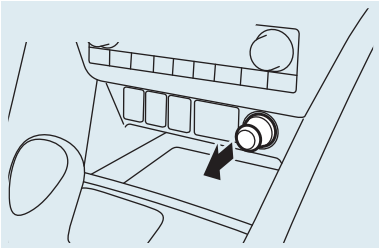
リヤガラスおよびドアミラーを暖めて曇りを取ることができます。

READY（走行可能）表示灯が点灯しているときにスイッチを押すと作動し、表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押す、または約15 ～ 20分経つと自動的にスイッチが切れます。

※READY（走行可能）表示灯が消灯した状態で長時間使用すると、補機用バッテリーの電圧が低下し、プラグインハイブリッド EV システムの起動ができなくなることがあります。

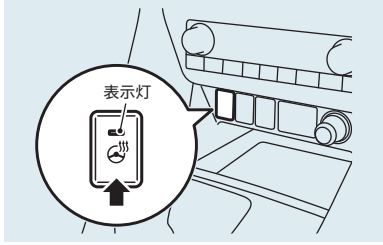
04 アクセサリーソケット (DC12V)



パワースイッチの電源モードが ON または ACC の状態のときに使用できます。プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。

必ず、12V で消費電力が120W 以下の電気製品を使用してください。

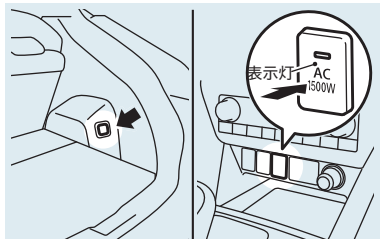
05 ステアリングヒータースイッチ



ステアリング（ハンドル）内部のヒーターによりステアリングの左右のグリップ部を温めます。

パワースイッチの電源モードが ON のときに、スイッチを押すとステアリングヒーターが作動し、スイッチ内の表示灯が点灯します。ステアリングヒーターは、作動してから約30分後に自動で停止します。途中で停止したいときは、スイッチをもう一度押します。

06 100V AC 電源 (1500W) スイッチ



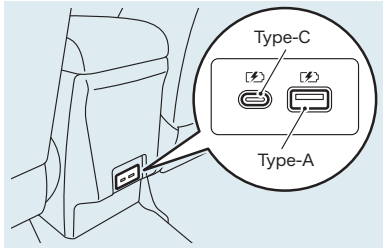
100V AC 電源 (1500W) はラゲッジルーム右側にあります。

READY（走行可能）表示灯が点灯しているとき、消費電力が1500W 以下の AC100V の電源として使用できます。

使用するときは、スイッチを押して ON にします。ON にした場合、スイッチ内の表示灯が点灯します。

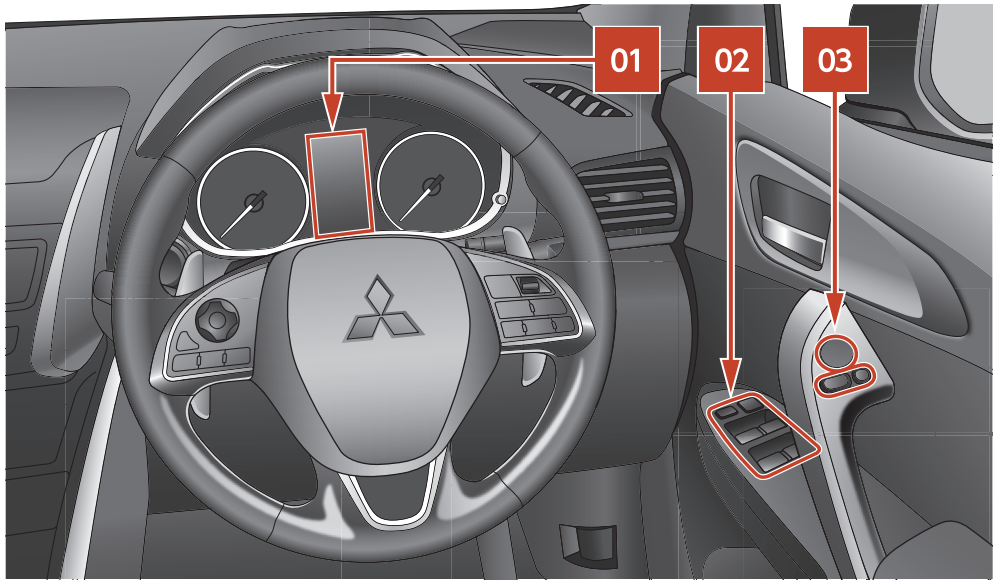
停止するときは、スイッチを押して OFF にします。OFF にした場合、スイッチ内の表示灯が消灯します。

07 充電用 USB ポート

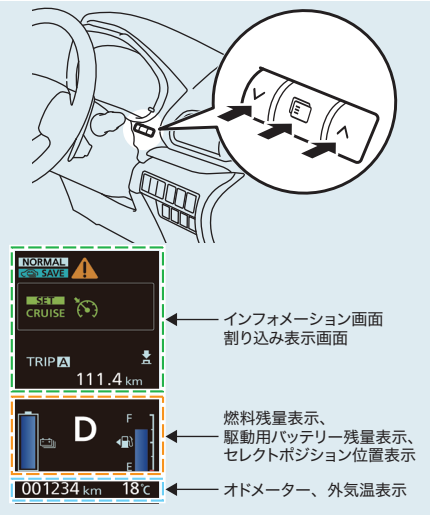


パワースイッチの電源モードが ON または ACC のときに、USB デバイス（機器）の電源として使用できます。

使用するときは充電用 USB ポートに、USB 接続ケーブルを接続します。

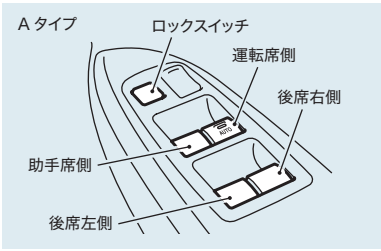


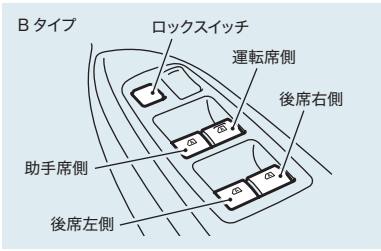
01 マルチインフォメーションディスプレイ



マルチインフォメーションディスプレイスイッチを操作するたびに音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイの各種警告、サービスリマインダー、平均燃費、EV 航続可能距離、総合航続可能距離、EV 走行比率、エネルギーフローなどの表示を切り換えることができます。

02 パワーウインドウ





運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。スイッチを押すと開き、引き上げると閉まります。スイッチを強く押したり、強く引き上げると自動的に全開、全閉します。

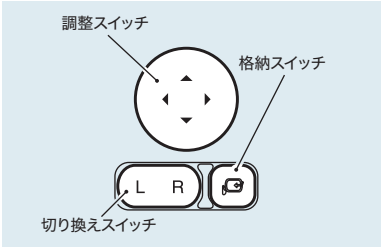
仕様の違いにより、自動操作が可能なドアガラスは異なります。

A タイプ：運転席ドアガラスのみ

B タイプ：全席ドアガラス

ロックスイッチを ON にすると助手席、後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。OFF にするときはもう一度押します。

03 電動リモコンドアミラー



角度調整

切り換えスイッチの調整したい側を押した後、調整スイッチを押して、上下左右にミラーを動かします。

L：左側ミラーの調整

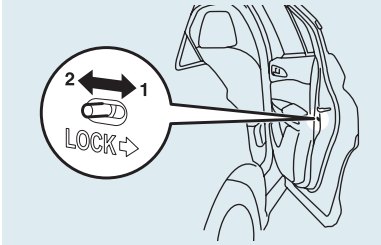
R：右側ミラーの調整

格納スイッチ

スイッチを押すと、ドアミラーが格納されます。

もう一度押すと元の位置に戻ります。

チャイルドプルーフ



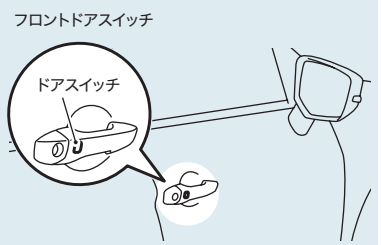
レバーを施錠側 (1) にしてドアを閉めると、ドアのロックノブの位置に関係なく、車内からは後席のドアが開けられなくなります。

安全上、お子さまを乗せるときにご使用ください。

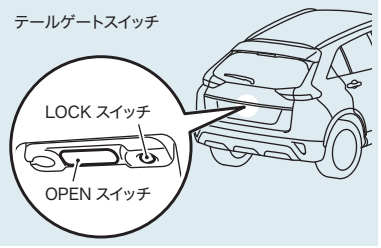
使用しない場合は、レバーを解錠側 (2) にしてください。

キーレスオペレーション機能またはキーレスエントリーシステムによるドアの施錠・解錠

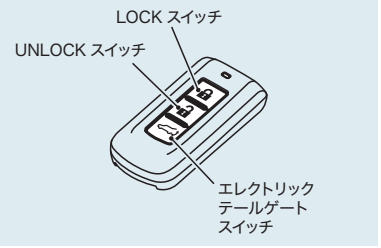
キーレスオペレーション機能



キーレスオペレーションキーを携帯してドアスイッチまたはテールゲートスイッチを押すと、ドアおよびテールゲートの施錠・解錠をすることができます。



キーレスエントリーシステム



LOCK スイッチを押すとドアおよびテールゲートが施錠し、UNLOCK スイッチを押すと解錠します。解錠後、約30秒以内にドアまたはテールゲートを開けなければ自動的に施錠されます。

また、エレクトリックテールゲート付き車は、エレクトリックテールゲートスイッチを続けて2回押すと、自動でテールゲートを開閉することができます。

施錠・解錠時の確認

作動確認機能 *1	初期設定（工場出荷時）	
	施錠時	解錠時
非常点滅灯	1回点滅	2回点滅
ルームランプ	—	約15秒間点灯
車外ブザー *2	1回吹鳴	2回吹鳴

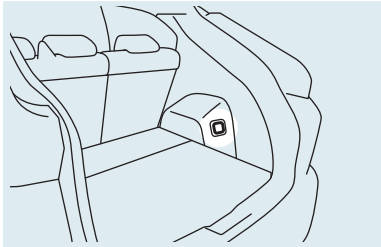
上記の通り作動を確認することができます。

ルームランプはスイッチが中間（ / ●）の位置にあるときに点灯します。

*1：設定を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

*2：キーレスオペレーション機能を使用したとき

100V AC 電源 (1500W)



READY（走行可能）表示灯が点灯しているときに使用できます。100V AC 電源 (1500W) スイッチを ON にしてふたを開け、家庭用電気製品の電源としてご使用ください。

必ず AC100V、かつ消費電力が1500W 以下で使用してください。

100V AC 電源 (1500W) スイッチの操作方法は、本書の20ページをお読みください。

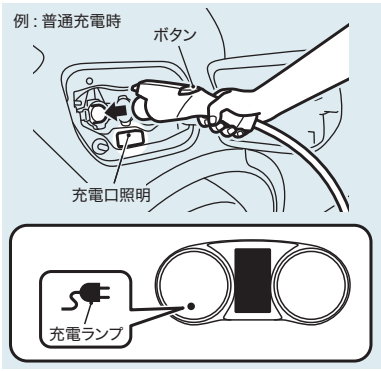
充電中の電装品の使い方

普通充電、急速充電、V2H 充電、V2H 給電中にパワースイッチの電源モードを ON にすると、エアコン、カーナビゲーション、オーディオなどを使用することができます。

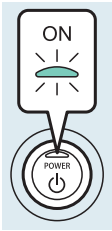
使い方

1 普通充電、急速充電、V2H 充電または V2H 給電を開始します。

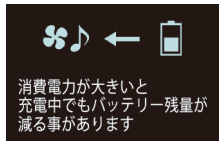
開始のしかたは、本書の3 ～ 6ページをお読みください。



2 普通充電、急速充電、V2H 充電または V2H 給電の開始を確認したら、パワースイッチの電源モードを ON にします。



3 マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に右の画面が表示され *1、エアコン *2、カーナビゲーション、オーディオなどを使用できるようになります。



*1：その他の優先度がより高い表示が出る場合があります。

*2：除く、電気温水式ヒーター付き車では充電中に暖房を使用できません。

電源モードの自動 OFF

充電中に電装品を使用しているとき、次の場合は自動的にパワースイッチの電源モードが OFF になります。

・エアコン停止後、駆動用バッテリーの残量がさらに低下したとき
・外気温が低く、次の警告が表示されたとき

・充電または給電が完了したとき
・普通充電コネクターを取り外したとき
・急速充電器または V2H 機器側で充電停止操作を行ったとき
・急速充電時間が60分を経過したとき
・急速充電器または V2H 機器側に設定されている停止条件（充電量・充電時間）となったとき
・停電により充電または給電が停止したとき
・故障により充電または給電が停止したとき
・セレクターレバーをⓃに操作したとき（充電または給電も停止します）

※自動的に電源モードが OFF になった場合も、エアコン、カーナビゲーション、オーディオなどは停止します。
また、車両状態はライトが消灯したり、ルームランプが点灯する、ドアミラーが格納するなど、パワースイッチを OFF に操作した場合と同様の状態になります。

エアコンの自動停止

次の場合は自動的にエアコンが停止します。エアコンが停止するとエアコンパネルが消灯します。

・駆動用バッテリーの残量が低下し、次の警告が表示されたとき

・駆動用バッテリーの温度が極端に低下し、次の警告が表示されたとき

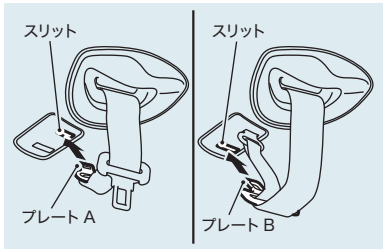
● リヤシートを折りたたんで荷室を作ることにより、大きな荷物などを積むことができます。

リヤシートの折りたたみ

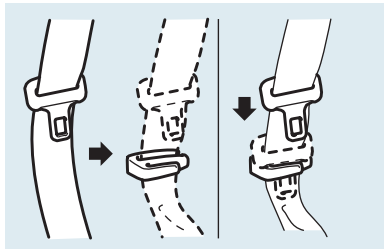
1 ヘッドレストを一番下の位置まで下げます。

2 シートベルトを格納します。

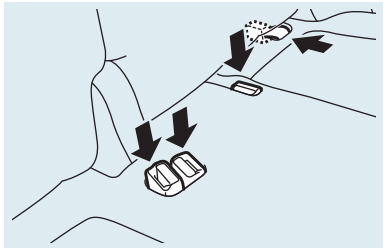
▸中央席のシートベルトは、プレート A を上側のスリットへ、プレート B を下側のスリットへ差し込みます。



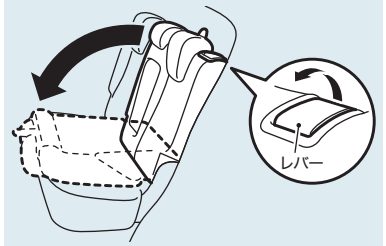
▸左右席のシートベルトは、ホルダーの後ろ側の切り込みにベルト部を通した後、前側の切り込みにプレートを差し込みます。



3 バックルを格納します。



4 レバーを引き上げて、背もたれを前に倒します。



5 戻すときは、背もたれを確実に固定するまで起こします。
背もたれを戻した後は背もたれを軽くゆすり、確実に固定されていることを確認します。

● 警告灯が点灯または点滅し続けたときは、取扱説明書 5 章「運転するときは」の「表示灯・警告灯一覧」を確認の上、三菱自動車販売会社にご相談ください。

READY（走行可能）表示灯

プラグインハイブリッド EV システムが起動するまで点滅し、正常に起動し走行可能状態になると点灯に変わります。

補機用バッテリー充電警告灯

充電系統に異常があると点灯します。

充電ランプ

普通充電ケーブルまたは急速充電ケーブルで充電中に点灯します。また、急速充電または V2H 充電が正常に終了しなかった場合は点滅し続けます。

衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] ／誤発進抑制機能 OFF 表示灯

FCM を OFF にしたときに点灯します。

プラグインハイブリッド EV システム警告灯

プラグインハイブリッド EV システムに異常があると点灯します。

RBS（回生ブレーキ）警告灯

回生ブレーキシステムが使用できない状態になると点灯します。

車線逸脱警報システム [LDW] 表示灯

LDW が ON のときに点灯します。

電動パワーステアリング [EPS] 警告灯

EPS に異常があると点灯します。

車両接近通報装置警告灯

車両接近通報装置に異常があると点滅します。

後側方車両検知警報システム（レーンチェンジアシスト機能付）[BSW/LCA] 表示灯

BSW がONのときに点灯します。

車幅灯表示灯

車幅灯を点灯させると点灯します。

フロントフォグランプ表示灯

フロントフォグランプを点灯させると点灯します。

ヘッドライト上向き表示灯

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

次の場合に点滅します。

- 方向指示レバーを操作したとき
- 非常点滅灯スイッチを押したとき
- 走行中に急ブレーキを踏んで、自動的に非常点滅灯が作動したとき

オートマチックハイビーム [AHB] 表示灯

AHB がONのとき点灯します。

電動パーキングブレーキ警告灯

電動パーキングブレーキに異常があると点灯します。

アクティブスタビリティコントロール [ASC] OFF 表示灯

ASC を OFF にしたときに点灯します。また、ASC に異常があると、ASC 作動表示灯と同時に点灯します。

アクティブスタビリティコントロール [ASC] 作動表示灯

ASC が作動すると点滅します。また、ASC に異常があると、ASC OFF 表示灯と同時に点灯します。

ABS 警告灯

ABS のシステムに異常があると点灯します。

エンジン警告灯

エンジン制御システムに異常があると点灯または点滅します。

ブレーキ警告灯

次の場合に点灯します。

- 電動パーキングブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキシステムに異常があるとき

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告灯

SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構のシステムに異常があると点灯します。

シートベルト非着用警告灯

運転者がシートベルトを着用していないと点灯または点滅します。

ブレーキオートホールド作動表示灯

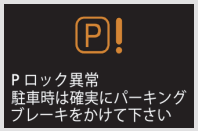
ブレーキオートホールドシステムによりブレーキがかかった状態のときに点灯します。

● インフォメーション画面に警告が表示されたときは、取扱説明書 5 章「運転するときは」の「警告表示一覧」を確認の上、適切な処置を行ってください。
以下の表示は代表例です。

警告表示

● プラグインハイブリッド EV システムに何らかの異常が発生しています。

● プラグインハイブリッド EV システムに何らかの異常が発生しています。安全な場所に停車してください。



● パーキングロックユニットに何らかの異常が発生したため、電動パーキングブレーキをかけないとプラグインハイブリッド EV システムを停止できません。

● 充電給電口に充電コネクターが接続されているとき、プラグインハイブリッド EV システムを起動しようとしています。

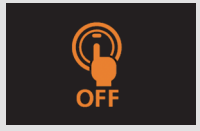
● 車両または普通充電ケーブルに何らかの異常が発生したため、充電を中断しました。

● 普通充電の場合
・充電ケーブルの接続不良または停電により充電を中断しました。

● 急速充電・V2H 充電の場合
・お客様の操作により充電を中断しました。
・急速充電の時間が60分を経過しました。
・接続不良または停電により充電を中断しました。
・車両、急速充電器または V2H 機器側での何らかの異常が発生したため、充電を中断しました。

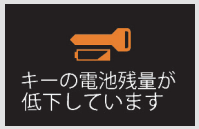
● 充電中のエアコン使用により、駆動用バッテリー残量が低下したため、エアコンが停止しました。

● エアコンが自動停止した後、再度エアコンが使用できる状態になりました。
一度パワースイッチの電源モードを OFF にして ON にし直すと再度エアコンが使用できます。



● パワースイッチの電源モードが OFF 以外の状態のときに運転席ドアが開いています。

● パワースイッチの電源モードが OFF 以外の状態のときに、すべてのドアおよびテールゲートを施錠しようとしています。



● キーレスオペレーションシステムに何らかの異常が発生しています。

パワースイッチが1回押されたとき

パワースイッチが2回以上押されたとき

● パワースイッチが押されましたが、キーレスオペレーションキーを検知できません。

● 運転席のシートベルトを着用しないままパワースイッチの電源モードを ON にしています。

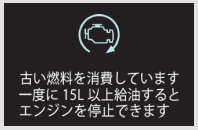
● 車外温度が0℃ (32°F) 以下になっています。

● ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押し、電源モードが ACC になったときに表示します。

● パワースイッチの電源モードが ON で、プラグインハイブリッド EV システムが起動していないときに表示します。

その他の割り込み表示

● プラグインハイブリッド EV システムが高温もしくは低温になってるため、安全装置が働いて走行出力を制限しています。

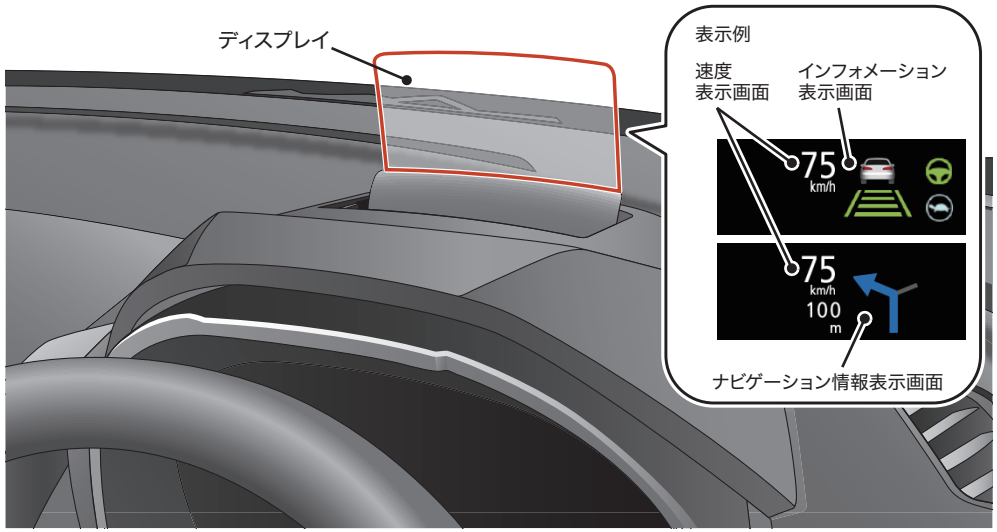


● 約3 ヶ月間燃料が1回に約15L 以上給油されていないと、エンジンや燃料系部品のメンテナンスのためエンジンが自動的に始動しますが、故障ではありません。

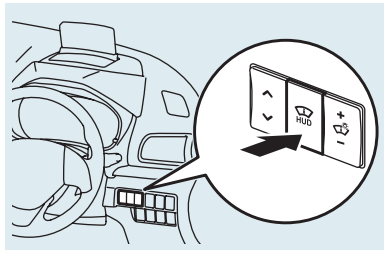
● セレクトポジションがⓃの状態で、アクセルペダルが踏み込まれています。ブレーキペダルを踏んだままセレクトポジションをⒹまたはⓇにしてください。

● 休憩までの時間を設定することができます。安全な場所に停車し、プラグインハイブリッド EV システムを停止して休憩してください。

- 運転中に前方を見ながらメーターの情報（速度表示、ナビゲーション情報表示など）を透明なディスプレイで確認することができます。
- ディスプレイに表示される情報の種類については、取扱説明書 5 章「運転するときは」の「ヘッドアップディスプレイ [HUD]」をお読みください。



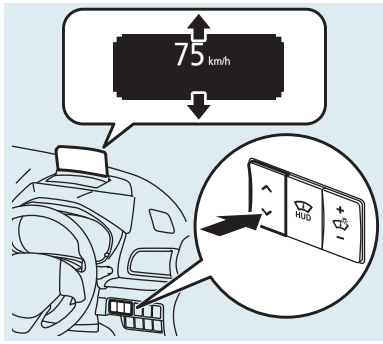
ディスプレイを展開／格納するときは



パワースイッチの電源モードが ON のときに、HUD スイッチを押すとディスプレイが展開されます。

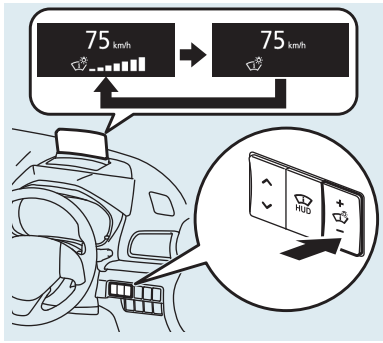
ディスプレイが展開しているときに、HUD スイッチを押すとディスプレイが格納されます。

ディスプレイの角度を調整するときは



ディスプレイが展開しているときに、スイッチの∧または∨を押すと、ディスプレイの角度が調整され、情報の表示位置が上下に変化します。

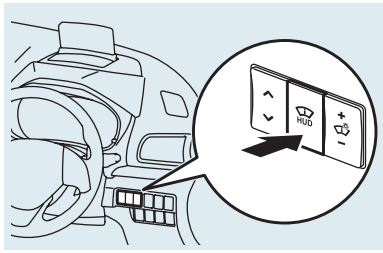
ディスプレイの照度を調整するときは



ディスプレイが展開しているときに、スイッチの＋または－を押すことによりディスプレイの照度が変わります。

車幅灯の点灯・消灯に応じて、夜用・昼用の照度をそれぞれ16段階ずつ調整することができます。

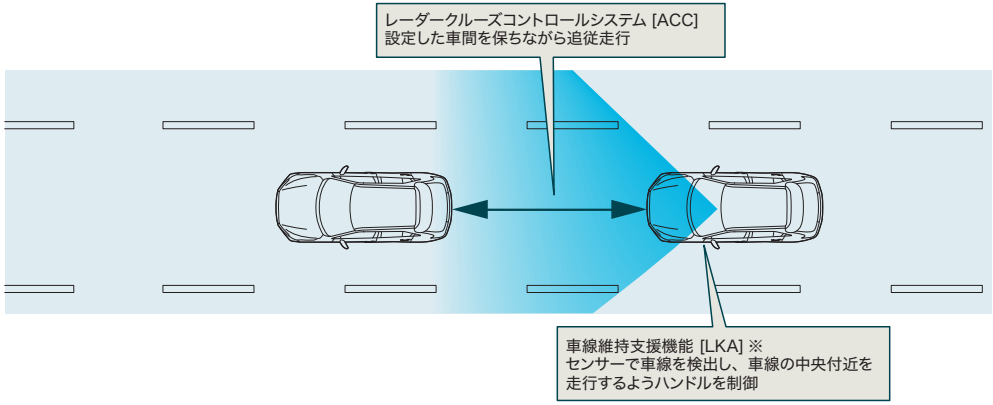
ナビゲーション情報表示画面を切り換えるときは



スマートフォン連携ナビゲーション付き車は、停車しているときにナビゲーション情報の表示を ON（表示）または OFF（非表示）に設定することができます。

ディスプレイが展開しているときに、HUD スイッチを押すと設定案内画面が表示されます。設定案内画面で HUD スイッチを長押しすると、ナビゲーション表示設定画面に切り換わります。

● マイパイロットは、主に高速道路などの自動車専用道路で、運転者が設定した車速を上限に先行車と車速に応じた車間距離を保ちながら、車線中央付近を走行するための運転操作を支援します。

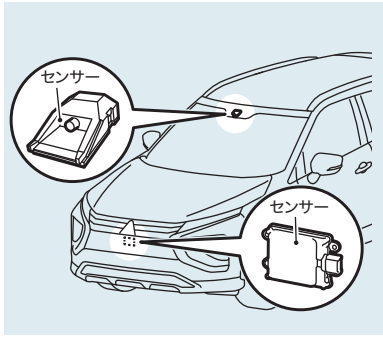


※車線維持支援機能 [LKA] の詳細については、本書の36ページも併せてお読みください。

⚠ マイパイロットの機能について

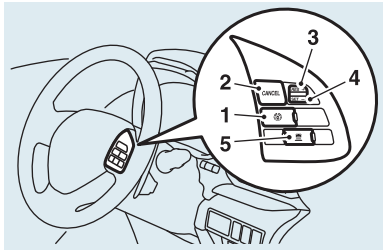
- マイパイロットの性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
- 状況によっては作動しない場合があります。また、ご注意いただきたい項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。
- 手離し運転を行うことはできません。運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。
- 高速道路や自動車専用道路で使用してください。一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので、使用しないでください。
- ご不明な点は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

センサーの位置



センサーはフロントガラス上部とフロントバンパーの内側にあります。

マイパイロットスイッチ



1- マイパイロット ON/OFF スイッチ
マイパイロットを ON/OFF します。

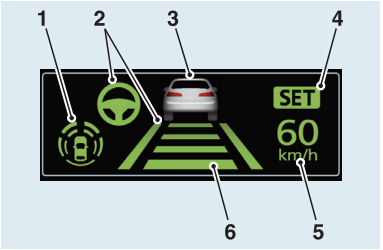
2- CANCEL スイッチ
ACC の制御をキャンセルするときに使います。

3- RES +スイッチ
一度設定した速度で動作させたり、設定した車速を上げたりするときに使います。

4- SET −スイッチ
希望する速度に設定したり、設定した速度を下げたりするときに使います。

5- マイパイロット車間設定スイッチ
前方車両との車間距離の設定を変更するときに使います。

マイパイロット表示画面



1- マイパイロットインジケーター
- マイパイロットスタンバイ中：白色に点灯
- マイパイロット制御中：緑色に点灯

2- 車線維持支援機能 [LKA] インジケーター
- LKA スタンバイ中：灰色に点灯
- LKA 制御中：緑色に点灯
- 車線逸脱時：逸脱を検出した車線のみ橙色に点灯

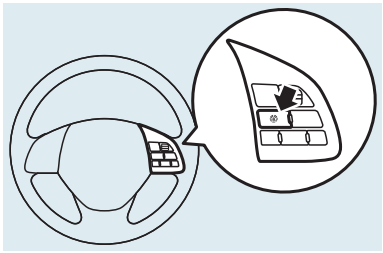
3- 前方車両表示
- 前方車両検出あり：表示
- 前方車両検出なし：非表示

4- 制御状態インジケーター
ACC 制御状態であることを示します。

5- 設定車速表示
設定車速を表示します。

6- 車間設定表示
前方車両との距離設定を表示します。

システムを起動（スタンバイ）するときは

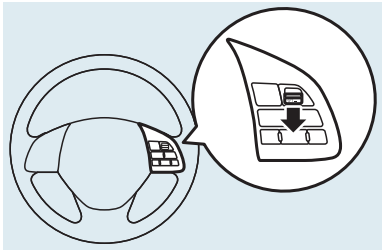


パワースイッチの電源モードが ON のとき、マイパイロット ON/OFF スイッチを押すと、マイパイロットが ON（スタンバイ）になります。

※パワースイッチの電源モードを OFF にして再度電源モードを ON にしたときは、マイパイロットは OFF になります。

※マイパイロット ON/OFF スイッチを約1.5秒押し続けると、定速制御機能に切り換わり、マイパイロットは作動しません。定速制御機能については取扱説明書5章「運転するときは」の「クルーズコントロール（自動定速走行装置）」をお読みください。

制御を開始するときは

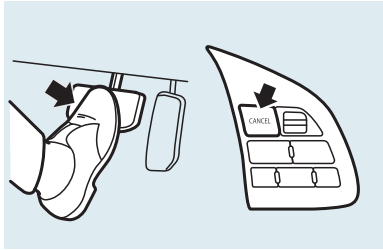


マイパイロットが ON（スタンバイ）状態のとき SET －スイッチを押し下げます。

設定したい車速で SET －スイッチを離すと、車速が設定され、マイパイロットの制御が開始します。

※設定できる車速範囲は約30 ～ 120km/h です。

制御を終了するときは



ACC 制御中に次のいずれかの操作をすると、ACC 制御はキャンセルされ、スタンバイ状態になります。制御開始条件が再び成立すれば、SET －または RES ＋スイッチで制御開始できます。

- CANCEL スイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む

※マイパイロット ON/OFF スイッチを押しても ACC 制御をキャンセルできます。このとき、ACC は OFF になります。

各設定のしかたの詳細については、取扱説明書5章「運転するときは」の「マイパイロット [MI-PILOT]」をお読みください。

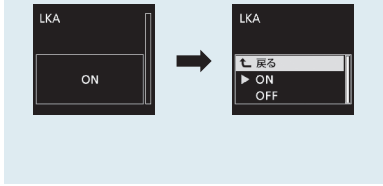
車線維持支援機能 [LKA]

LKA は車線中央付近を走行するようにハンドルを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。

作動条件

- ACC の制御が開始しているとき
- 両側の車線を検出しているとき
- 前方車両を検出しているとき（車速が約50km/h を下回っている場合のみ）
- 運転者がハンドルを持っているとき
- 車線の中央付近を走行しているとき
- 方向指示灯が作動していないとき
- ワイパーが高速で作動していないとき

LKA の ON/OFF 切り換え



マルチインフォメーションディスプレイスイッチを押して、インフォメーション画面で「LKA」の「ON」または「OFF」を選択すると、LKA の設定を切り換えることができます。

● e-Assist とは、各種センサーによって事故の危険を検知して運転者に知らせるとともに、できる限り事故被害を予防・回避・軽減できるよう支援する安全技術です。

⚠ e-Assist の各機能について

- 検知性能、制御性能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
- 状況によっては作動しない場合があります。また、ご注意いただきたい項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。
- 衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] は、二輪車、自転車、壁などは作動対象ではありませんが、状況によって作動する場合があります。
- 後側方車両検知警報システム [BSW] および後退時交差車両検知警報システム [RCTA] は、小型の二輪車や自転車に対して作動しない、または作動が遅れることがあります。
- ご不明な点は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM]

センサーを使用して自車が走行する車線上の前方車両や歩行者との相対速度、相対距離を測定し、衝突する危険性があると判断したときに、インフォメーション画面の警告表示とブザーで注意を促し、場合によってはブレーキ制御を自動的に作動させて、衝突被害を軽減または衝突を回避します。

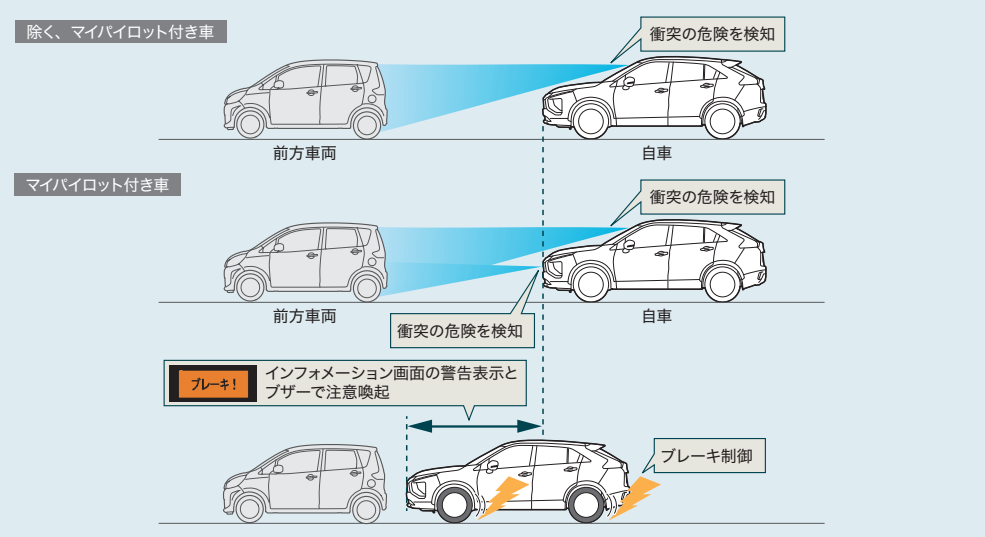
ブレーキ制御の作動する車速

除く、マイパイロット付き車

- 車両に対して：約5 ～ 80km/h
- 歩行者に対して：約5 ～ 65km/h

マイパイロット付き車

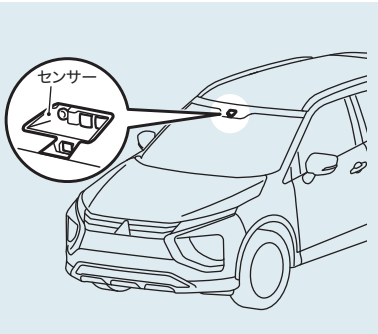
- 車両に対して：約9 ～ 180km/h
- 歩行者に対して：約9 ～ 65km/h



センサーの位置

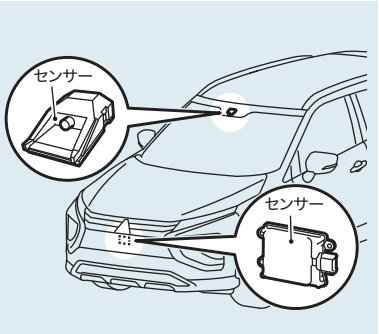
除く、マイパイロット付き車

センサーはフロントガラス上部にあります。

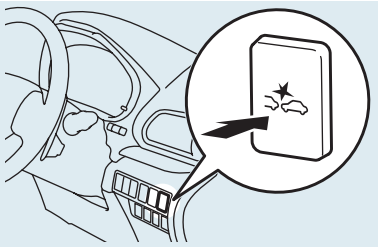


マイパイロット付き車

センサーはフロントガラス上部とフロントバンパーの内側にあります。



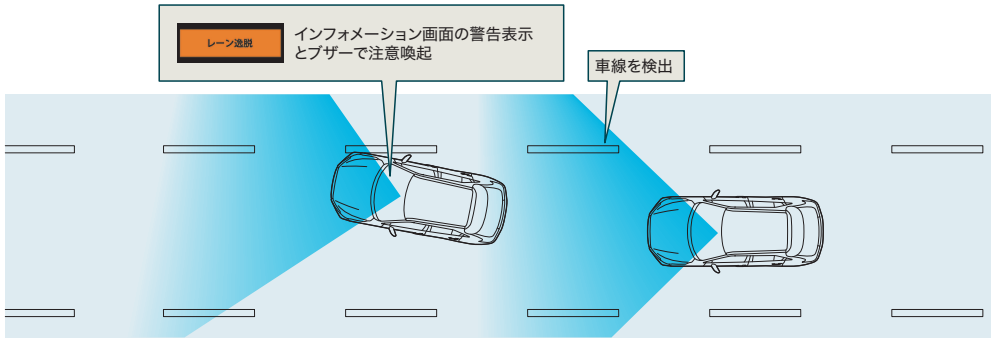
FCM の ON/OFF 作動切り換え



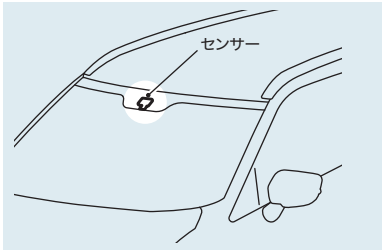
パワースイッチの電源モードを ON にすると、自動的に FCM は ON になります。OFF にしたいときはスイッチを押します。FCM の ON/OFF は誤発進抑制機能の ON/OFF に連動して切り換わります。FCM が ON のときにスイッチを短く押すと、衝突警報タイミングの切り換えができます。

車線逸脱警報システム [LDW]

センサーで走行車線（レーン）を認識し、走行車線を逸脱しそうな状況において、インフォメーション画面の警告表示とブザーで注意を促します。

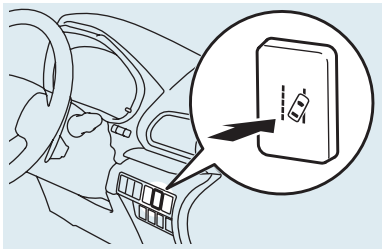


センサーの位置



センサーはフロントガラス上部にあります。

LDW の ON/OFF 作動切り換え

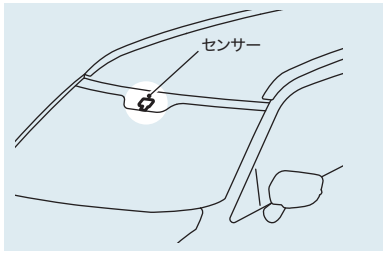


LDW スイッチを押すと LDW 表示灯が消灯し、システムが OFF になります。システムを ON にしたいときはもう一度スイッチを押します。

・工場出荷時は LDW の設定は ON になっています。

・パワースイッチの電源モードを OFF にしてもシステムの作動状態（ON または OFF）を記憶しています。

オートマチックハイビーム [AHB]

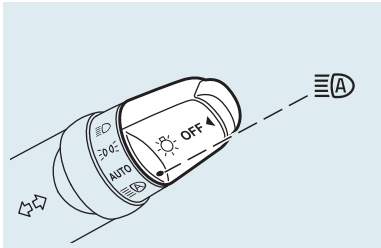


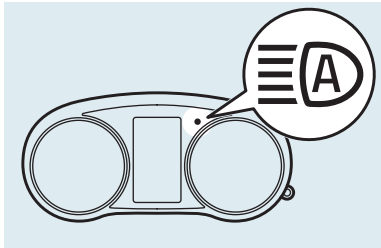
センサーにより、先行車または対向車のランプや街路灯などの明るさを検知して、自動的にヘッドライトの上向き（ハイビーム）または下向き（ロービーム）の切り換えを行います。

AHB を ON にする

ライトスイッチが AUTO の位置でヘッドライトが点灯しているときに、≡Ⓐの位置に回すと、AHB が ON になります。

メーター内の AHB 表示灯が点灯します。





AHB を OFF にする

ライトスイッチを≡Ⓐの位置に回すと、AHB 表示灯が消灯し、システムが OFF になります。

ハイビームとロービームの自動切り換え条件

●次の条件をすべて満たしたときに、ハイビームが点灯します。
- 自車の速度が約30km/h 以上のとき
- 車両の前方が暗いとき
- 先行車または対向車がいない、またはランプを点灯していないとき

●次の条件のいずれかのときは、ロービームが点灯します。
- 自車の速度が約25km/h 以下のとき
- 車両の前方が明るいとき
- 先行車または対向車がランプを点灯しているとき

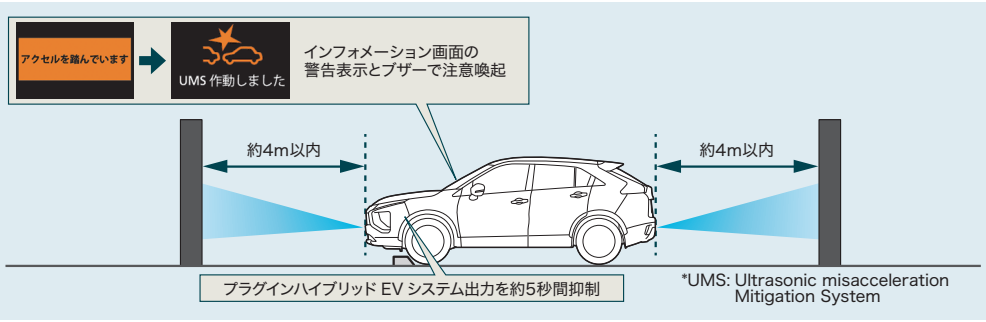
※状況によっては、ハイビームとロービームが自動的に切り換わらない場合があります。
詳細については別冊の「取扱説明書」をお読みください。

誤発進抑制機能（前進&後退時）

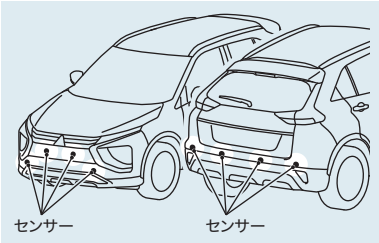
センサーが前方または後方の車両や障害物を検知している状態で、ペダルの踏み間違いなどによりアクセルペダルが素早く、かつ必要以上に踏み込まれると、インフォメーション画面の警告表示とブザーで注意喚起するとともに、プラグインハイブリッド EV システムの出力を約5秒間抑制して衝突被害を軽減します。

作動条件

- 停車～約10km/h での走行時
- 進行方向（約4m 以内）の障害物を超音波センサーで検知しているとき
- アクセルペダルを素早く、必要以上に踏み込んだとき
- 運転者がハンドルを切るなどの回避行動をしていないとき
- セレクトポジションがⓅまたはⓃ以外のとき



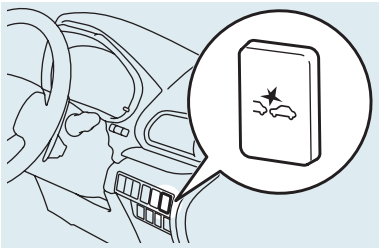
センサーの位置



フロントバンパーとリヤバンパーに各4箇所ずつセンサーがあります。

センサーはパーキングセンサー（フロント／リヤ）と兼用しています。

誤発進抑制機能の ON/OFF 作動切り換え



パワースイッチの電源モードを ON にすると、自動的に誤発進抑制機能は ON になります。また、誤発進抑制機能の ON/OFF は、衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM] の ON/OFF 状態に連動して切り換わります。

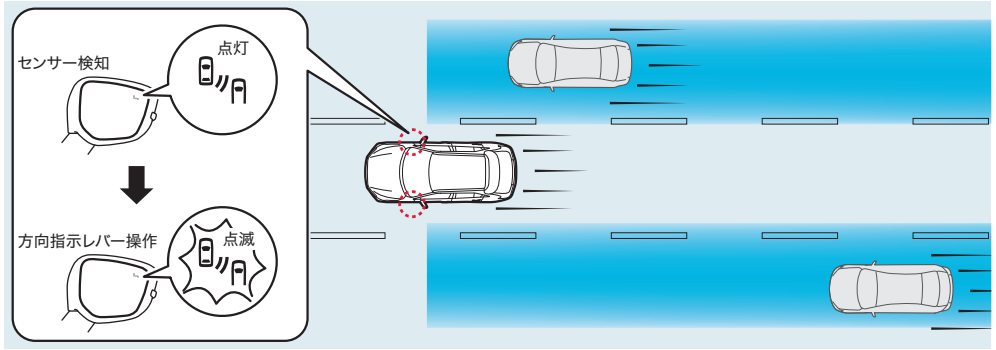
後側方車両検知警報システム（レーンチェンジアシスト機能付）[BSW/LCA]

自車の斜め後方を走行している車両をセンサーが検知すると、ドアミラー鏡面にある警告灯が点灯します。この状態で警告灯が点灯している側に方向指示レバーを操作すると、警告灯が点滅すると同時にブザーが鳴って運転者に危険を知らせます。

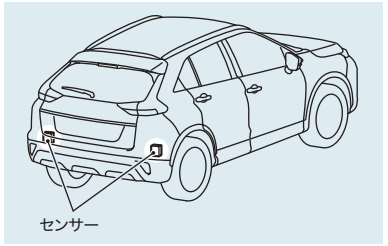
また、隣接車線の後方（最大で約70m）から、自車に接近している他車をセンサーが検知したときにも、同様に運転者に危険を知らせます。（レーンチェンジアシスト機能）

作動条件

- パワースイッチの電源モードが ON のとき
- セレクトポジションがⓅまたはⓇ以外のとき
- 車速が約10km/h 以上のとき

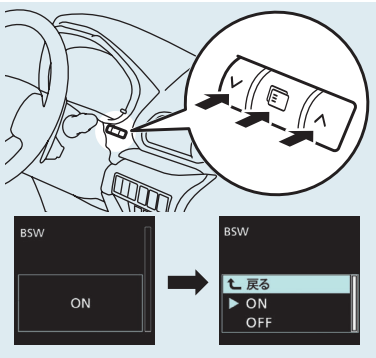


センサーの位置



リヤバンパーの内側に2つのセンサーがあります。センサーは後退時交差車両検知警報システム [RCTA] と兼用しています。

システムの ON/OFF 作動切り換え

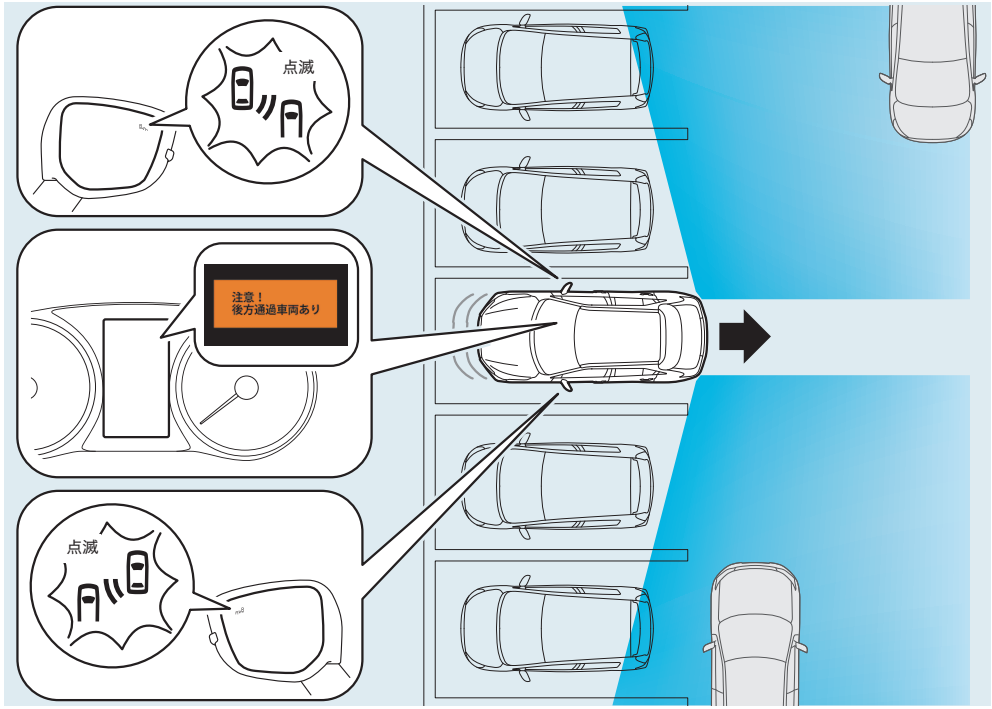


マルチインフォメーションディスプレイスイッチを押して、インフォメーション画面で「BSW」の「ON」または「OFF」を選択すると、BSW の作動を切り換えることができます。

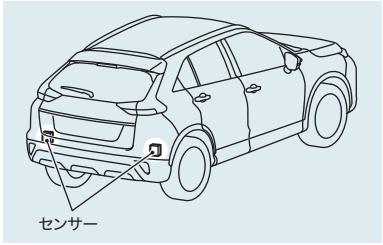
BSW の ON/OFF に連動して、後退時交差車両検知警報システム [RCTA] の ON/OFF も同時に切り換わります。

後退時交差車両検知警報システム [RCTA]

後退時に左右から自車に接近している車両をセンサーが検知すると、ドアミラー鏡面にある警告灯が点滅し、ブザーが鳴って運転者に危険を知らせます。同時にインフォメーション画面に警告を表示します。



センサーの位置



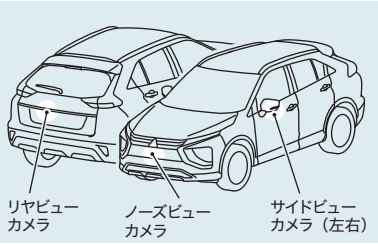
リヤバンパーの内側に2つのセンサーがあります。センサーは後側方車両検知警報システム [BSW] と兼用しています。

システムの ON/OFF 作動切り換え

1 インフォメーション画面の機能設定画面で、「BSW」の「ON」を選択して、後側方車両検知警報システム [BSW] を ON にします。
RCTA の作動状態（ON または OFF）は、BSW と連動して切り換わります。
本書の42ページも併せてお読みください。

2 セレクトポジションをⓇにするとシステムが作動します。

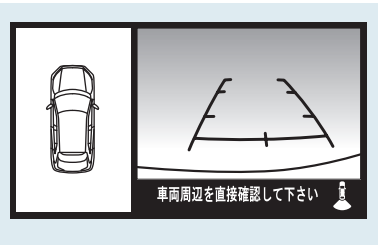
マルチアラウンドモニター



マルチアラウンドモニターは「ノーズビューカメラ」、「サイドビューカメラ（左右）」および「リヤビューカメラ」の4つのカメラの映像を組み合わせて、スマートフォン連携ナビゲーションに映像を表示させる装置です。駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

使い方

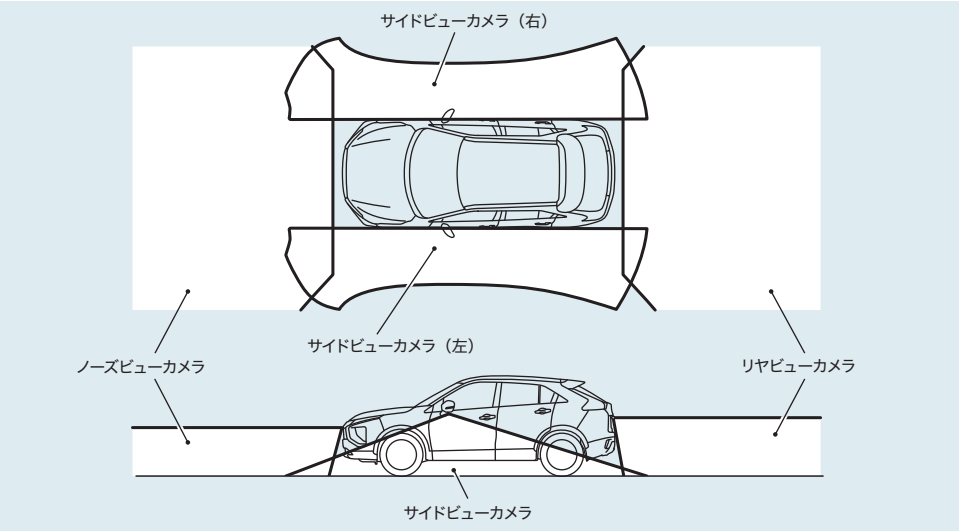
【バードアイビュー／リヤビュー表示】
車両周囲および車両後方を表示



パワースイッチの電源モードが ON の状態のときにセレクトポジションをⓇにすると、バードアイビュー／リヤビューの映像が自動的に表示されます。セレクトポジションをⓇ以外にすると、元の画面に戻ります。

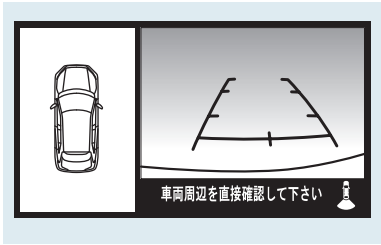
画面に表示できる範囲

カメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。また、前後バンパーの両端や下部などは表示できませんので、必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

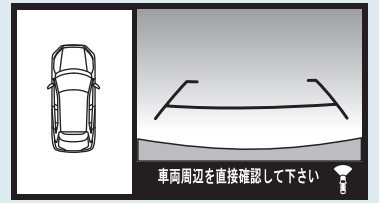


画面に表示できる映像の種類

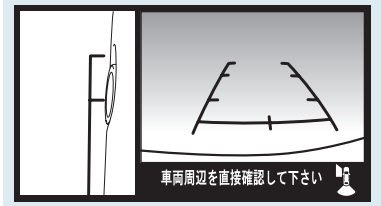
【バードアイビュー／リヤビュー表示】
車両周囲および車両後方を表示



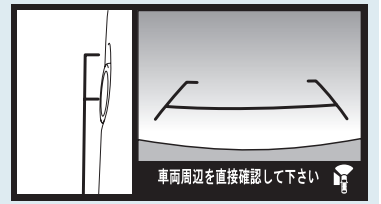
【バードアイビュー／ノーズビュー表示】
車両周囲および車両前方を表示



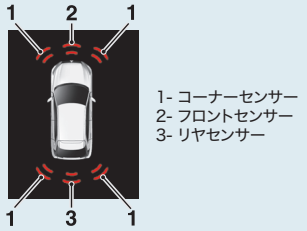
【サイドビュー／リヤビュー表示】
助手席側車両側方および車両後方を表示



【サイドビュー／ノーズビュー表示】
助手席側車両側方および車両前方を表示



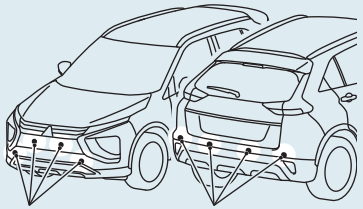
パーキングセンサー（フロント／リヤ）



1- コーナーセンサー
2- フロントセンサー
3- リヤセンサー

車庫入れや縦列駐車などのときに、車両周辺の障害物を検知すると、障害物の位置とおおよその距離をインフォメーション画面の表示とブザーで運転者に知らせ、注意を促します。

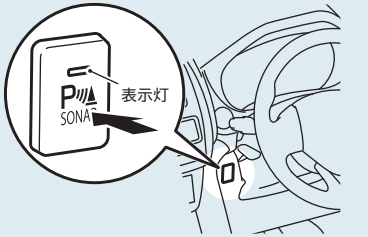
センサーの位置



フロントバンパーとリヤバンパーに各4箇所ずつセンサーがあります。

センサーは誤発進抑制機能と兼用しています。

システムの ON/OFF 作動切り換え



パワースイッチの電源モードを ON にすると、パーキングセンサーが自動的に ON になります。OFF にしたいときはスイッチを押します。OFF にした場合、スイッチ内の表示灯が消灯します。